

ACP のこれまでとこれから

～ACP の基本的な考え方から、今後の意思決定支援に向けて～



2025 年 9 月 13 日（土）14 時～姫路市医師会館 大ホールにて
標記研修会を開催し、多職種 44 名の方々にご参加いただきました。
ACP についての講演後、多職種のグループで、現状やこれからについて
語り合いました。

ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称「人生会議」)

もしもの時のために、家族や信頼できる人たち、医療・介護専門職と一緒に、これからの
自分らしい生き方について繰り返し話し合う取り組みのことをいいます



くるす まさろう
来栖 昌朗 医師

第一部

くるす医院 院長 / 姫路市医師会 在宅医療・介護保険委員会 理事の 来栖 昌朗 医師 に「ACP
のこれまでとこれから～ACP の基本的な考え方から、今後の意思決定支援に向けて～」をご講演
いただきました。改めて ACP の概念や流れ、そして、専門職として ACP に関わる上での大切な
ポイントについて分かりやすく解説をしていただきました。また、ACP の現状と今後の課題につ
いてもお話をしていただきました。

- ・ACP は、疾患や、その時々状況に合わせた関りがある(タイミングや内容はそれぞれ)。繰り返し話し合
うプロセスを大切に、様々な想定が出来るように、いろんなものに目を向けて関わっていきましょう。
- ・状況に応じた対応は、専門職 1 人では難しいことも → 多職種での情報共有、協働が必要！
- ・多職種連携は、まずは互いの職域の立場をリスペクトするところから始まります。そして ACP では、家族
(キーパーソン)にも配慮し、信頼関係を構築しながら一緒に関わっていくことが大切です。
- ・本人が望まない救急搬送が要請されないように、主治医との連携や、本人の意思の確認が救急隊にもわ
かるようなものが必要になることもあります。

第二部

私たちの地域での ACP について、語り合おう！(グループワーク)

- ・ACP に関する情報共有(多職種連携)の現状
- ・これからに向けて ACP に関する情報を関係者間で共有し続けるためにそれぞれができることは？
について、話し合いました。



【アンケートより(一部抜粋)】

- ・ACP の本質はプロセスであり、変化が前提であることを再認識しました。
- ・1 回の関わりだけでなく、継続して一緒に考えていくことが大事だとわかった。
- ・本人、家族の思いを大切に、職種、事業所担当者をリスペクトして連携を図っていきたい。
- ・改めて、本人の人生会議であること、生きて行くことの支援であること、自身の関わりを振り返る機会になった。
- ・自分たちが持っている情報をしっかりと次に繋げる事が大事であることを再認識できました。
- ・多職種でお互いに顔の見える関係を築いて、共に考え寄り添って行くことの大切さを再確認することができた。

姫路市作成 市民向け
「人生会議」パンフレットの
活用についても話題にあが
りました。



姫路市作成 市民向け「人生会議」パンフレットのダウンロードはこちら → <https://himeji-renkei.com/news/3773.html>

これからの研修会については、ホームページ「研修会スケジュール」よりご確認ください